

問 遠野市過疎地域自立促進計画は、先の議会で承認され、県を経て総務省に提出がなされた。現在、少子高齢化の中で人口減少と高齢化率の上昇が何事にも脅威を与えている感があり、この対策を補うと期待される「地域活動専門員」の配置計画があり、マンパワーでの地域起こしに大いに期待されるが、どの町を対象に何ヶ所計画されるのか。



地域活動専門員配置を待つ小友町

答 この計画に基づき、地域や集落などの支援を図るため、地域活動専門員の配置を盛り込み、平成23年4月から3人程度を計画しているが、地区センター内か各地区へ実質配置がよいかを含め、地域の実情に対応したあり方を探りながら事業を進めていく。地域活動専門員の役割は、地域力の再生を図るための仕掛け人として、地域が抱えている課題を解決



地域活動専門員の配置計画は どうなっているか

菊池 巳喜男 議員 (清風会)

問 二日町小友線整備後のアクセス道路の改良対策として、小友・鷹鳥屋線の歩道整備や川口・土室線の拡幅整備の見通しと二日町小友線のバス路線化の今後の方針は。

答 地域づくりの拠点施設として地区センターが設置されている。ここに地域活動専門員が新たに加わり、各地区の取り組むべき課題に応じた対応策を、地域住民の協力を得ながら、関係機関と協調をもつて市民協働のまちづくり、地域づくりにつなげていきたい。

問 地区センターとの役割は、どのように考えているのか。

するアドバイス等を役割とし、地域との連携を大切にしていく。

答 小友から鷹鳥屋崎地区まで整備が完了しており、それ以降の区間については、二日町小友線完成後の交通量の動向と歩行者の利用状況を検証し、整備の方向性を決めていく。川口から土室間の道路拡幅整備については、二日町小友線完成により、交通量の緩和が予測されることから、現在の道路の適正な維持管理に努める。二日町小友線については、デマンド交通の指定認可を受けており、完成後に運行ルートとして活用していく。

その他の質問
●200円バスやデマンドバスの土日運行业や路線の拡大等により、高齢者等の交通弱者や買い物弱者への対策を考えられないか。